

第6次白老町総合計画審議会（第7回）会議要旨

日時：令和元年12月19日（木）15:30～17:15

場所：白老町役場 第1委員会室

出席者：岡田委員長、中野副委員長、北平委員、笠井委員、野瀬委員、牧野委員、倉地委員、宇佐見委員
桑田委員 計9名

欠席者：宇都宮委員 計1名

事務局：【企画課】 温井主幹、安藤主任、金子主事、吉井主事 計4名 工藤課長欠席

1. 開 会

2. 報 告

（1）総論・基本構想・基本計画（案）の修正について

○事務局から説明（事前送付資料）

【北平委員】

- ・26ページの個別施策1-（1）切れ目ない子育て支援の強化について、子育て世代だけでなく、子どもも主体となる文章を追加してほしい。（例：子どもたちが健やかに育ち）

3. 議 事

（1）資料編（案）の検討について

○事務局から説明（資料1）

各委員からの意見等（別紙1参照）

※意見等については事務局にて検討し、反映させていく。

（2）基本計画（案）の検討について

○事務局から説明（前回資料2）

各委員からの意見等（別紙2参照）

※意見等については事務局にて検討し、反映させていく。

4. その他

（1）町民説明会の実施について

○事務局から説明（資料2）

質疑なし

5. 閉会

別紙1（資料編（案）の検討について）

【桑田委員】

- ・ 7ページの町民参加プロセスについて、調査項目欄には調査項目名が記載されているが、調査項目数も記載した方が良いのではないか。
- ・ 17ページ以降の用語解説について、アルファベットや造語にはフリガナをつけた方が良いのではないか。

【牧野委員】

- ・ 17ページ以降の用語解説について、DMOも追加した方が良いのではないか。

【笠井委員】

- ・ 20ページの地方創生の用語解説について、「進展」という言葉が使われているが、総論、基本構想、基本計画と統一感を持たせるため、「進行」にした方が良いのではないか。

別紙2（基本計画（案）の検討について）

○1-1 身近な安全

【牧野委員】

- ・子育て世代が町内会に求めることとして、防犯という意見が出ている。子育て世代の意見も現状と課題に反映させてほしい。

○1-4 環境美化・衛生

【中野副委員長】

- ・現状と課題に「プラスチック製品の利用の減少」という趣旨の文言を追記していただきたい。

【糸田委員】

- ・白老町環境基本計画について、毎年報告がなされていたはずだが、ここ数年報告がされていない。

○1-6 住環境

【宇佐見委員】

- ・都市空間という言葉に違和感を覚える。

○1-7 公共交通

【糸田委員】

- ・めざす姿の「自家用車がなくても～」はハードルが高すぎるのではないか。

【宇佐見委員、牧野委員、岡田委員長】

- ・全体的にデマンドバスのみについて記載しているように読み取れてしまう。JRなどの公共交通を一言追記してほしい。

【岡田委員長】

- ・成果指標について、デマンドバスの経営面を測りたいのか、公共交通の拡充を測りたいのか曖昧である。

○1-8 道路

【野瀬委員】

- ・成果指標について、今後コンパクト化していくことを考慮すると、町道舗装率の上昇は逆行していないか。維持・予防保全を測る指標にした方がいいのではないか。

○1-10 地域情報化

【笠井委員】

- ・光ブロードバンドに加入できない地域があると聞いたが、その点を現状と課題に記載した方が良いのではないか。

【糸田委員】

- ・白老町地域情報化推進計画の策定に係るアンケートでパソコンやスマートフォンの利用率を把握していたと思うが、現在ではどのような割合になっているのか。

【牧野委員】

- ・ 全体的に体制整備について記載されているように見えるが、利用者側、特に高齢者の方たちへの対応は記載しないのか。「地域情報化」という施策名だけをみると利用者側も情報化していくように読み取れる。高齢者への配慮が欠けているように感じる。